

漢文句法「比較・最上」確認テスト（於・不如・莫如） | 定期テスト対策 | 誰でも 古典塾 解答・解説

問1 用法＝比較。訳＝「霜にあたって紅葉した葉は、二月（春）の花よりも紅い。」「A～於B」で「AはBより～だ」を表す。

問2 書き下し＝「とらよりもたけし」。「於」は比較の基準を示し「～より（も）」と読む。

問3 訳＝「むごい政治は虎（の害）よりも恐ろしい（たけだけしく激しい）。」

問4 読み＝「しかず」。「不如」を「～に如かず」と読む。

問5 訳＝「百回聞くことは、一度実際に見ることに及ばない（一度見るほうがよくわかる）。」

問6 ア。「不如」は「AはBに及ばない＝Bのほうが良い」という比較・選択の意。「遠くの水は近くの火（事）を消すには間に合わない＝近くの火を救うには及ばない。」

問7 訳＝「(物事の道理を)知っている者は、それを好む者には及ばない(好む者のほうが優れている)。」

問8 読み＝「しくはなし」。「莫如」を「～に如くは莫し」と読む。

問9 用法＝最上。訳＝「賢者を用いることほど良いことはない(賢者を用いるのが一番だ)。」

問10 訳＝「身を修めるには、敬(つつしみ)に及ぶものはない(つつしみが一番大切だ)。「莫若」は「～に若くは莫し」。

問11 書き下し＝「ぜんをなすよりたのしきはなし」。「莫～於…」は「…より～なるは莫し」と読む。

問12 訳＝「楽しみは、善い行いをすることより楽しいものはない(善を行うのが最も楽しい)。」

問13 訳＝「わざわざは、満足を知らないこと(足を知らないこと)より大きいものはない。」

問14 読み＝「しくはなし」。訳＝「馬(の良し悪し)を見抜くことにかけては、伯楽に及ぶ者はいない(伯楽が一番だ)。」

問15 同じ働き＝②(または①)。いずれも「於」が「～より」と比較の基準を示す。訳＝「氷は(もとの)水よりも冷たい。」

問16 同じである。「不若」は「不如」と同じで「～に如かず(～に及ばない・～のほうが良い)」と読み、同じ比較・選択を表す。

問17 (例)「莫如・莫若」は〈莫如+A〉の形で「Aに如くは莫し＝Aが一番だ」と直接に最上を示す(例:莫如用賢)。一方「莫～於…」は〈莫+形容詞+於+…〉の形で「…より～なるは莫し＝…より～なものはない」と、比較の「於」を用いて最上を示す(例:禍莫大於不知足)。

問18 ア。イ「A不如B」とウ「莫如A」は最上(～が一番だ・～に及ばない)の意で、比較「AはBより～だ」を表すのはア「A～於B」。

問19 イ（比較・選択）。

問20 （例）⑤（遠水不如近火）・⑥（知之者不如好之者）・⑦（守口不若瓶）のいずれか。すべて「Aは（Bに）及ばない＝Bのほうが良い」という同じ用法。

問21 （解答例）「学ぶは習ふに如くは莫し。（学ぶことは復習するのに及ぶものはない＝復習が一番だ。）」など、〈莫如／莫若＋A〉の形で最上を表していれば正解。